初がすみ遊戯したまへる中性微子 身じろぎもせぬ貨車の群れ花火果つ 標野ゆくあをき獣や薬降る

• S 50 卒

豊澤壊殻

シャッター 寒晴や表参道遡上中 生れくる命や月の観覧車 は街の瞼や鳥帰る

。 S 50 卒 坂田光義

穢れなき記憶の落款春の泥 ほうたるはゆらりゆうらり消えにけ

● 8 47 卒 佐々木松翠 湯豆腐を一つ隔てて雨夜かな

祈る手のほどかれ 行く春や歩幅大きく追い越され 人日やおだてられては入門書 • S 47 卒 しとき木の芽吹く 原久美子

> 逝く君に花盗人となりにけ 剥製の眼北窓開きけり いのししは追はれて海へ二日月

。 S 52 卒 松田欣女

栗飯の栗がごろんと現わるる 父の忌や手書きの賞与明細書 灯されて浮力を得たり梅の花

• S 50 卒

海越えて追いたる夢や年あらた 垣見とん坊

航跡が円弧に斬って花筏 。 S 50 卒 中山髭丸

黒い牛冷すナイルの少年兵 てのひらに青磁のしめり額の花 コロンボの田んぼの中に大鳥居

> 冬の星理想ののぼりたたみけ 白鵬の凡敗して薪割りせむ 生身魂フランス風は気に召さず S3卒 長尾らいむ

サンル 月白し己の影に石を投げ 言の葉の海のよどみに春は来にけり ム冬空を抱くぬいぐるみ

●H06卒 村上ねこむすめ

セイロ 天炎えて短き影を焦が ンの陽も籠に茶摘み か

行く風をうつして光る青田かな ●蓮村泰花

魂抜けし涼しき野辺や恋蛍 新しき衣届きて梅薫る

こじらせし恋の供養や青葉潮

• S 52 卒 白川夕帆

オリ ーブの丘をすぎゆく時雨かな 。 S 50 卒 和田芝女

寝正月商売繁盛無有無有無 秋の空高層の窓七つ色 光生のあ ールケア春の日ざしと浮き心 母郷までゆ 。 S 33 卒 井上榮々峰

島影は円弧の果てや夜の秋 綿虫の帆なり it

。 S 47 卒 対馬康子 **雛吊るすどれも小舟の**

かたち

して

每月九日

俳句を二句ほどひ

ねろうか

い の

日本文藝家協会会員国際俳句交流協会・現代俳句協会・俳人協会・ 東京都俳句連盟副会長「天為」最高顧問「麦」会長

> モオツァルト無常という事冬の夜 山目覚め芽吹きの気配漲り ●S47卒 土居六条

青山に白き十字のやまぼう光降る柿生の里の初不動

•大西千女

軒瓦黝く光りて花の雨

。 S 37 卒

岡崎洋々

武道始遅明の空のさやかなる

幸いは星降るごとくクリスマス

白き糸年賀状書く前髪に

雪しまき右や左や佐渡の海

生と死と春と息吹と性と詩と

梅雨明けて満面の笑み竿の下 青竹に挿されて映える曼珠沙華 ●S38卒 三宅五十六

早咲きの梅を愛でしと郷里だより 元日三日成すことありと言ひて逝き

。 S 34 卒

頼則紗頼

目の合いし獣逃げ行く秋の

魂迎へ彼方に讃岐富士を見て 帰省子の友も友呼び夜もすがら ふるさとはあり し日のまま風光る ●S38卒 田阪千十

与王は誰なん?

岡崎洋(S37卒) okazaki@tokeilaw.com 松田欣末子(S52率) matsudakimiko@gmail.com 和田邦子(S50率) wadakuni@ae.auone-net.jp